

巡検・セミナー開催のご案内

■巡検・セミナー企画中

2025（令和7）年度の巡検を企画中です（再掲）。

「日本一長い商店街を歩く」東京都台東区の国際通り上に連なる四つの商店街「東京国際通り振興会」（約3km）が2024年11月に誕生。蔵前から三ノ輪までをのんびり歩きます。開催は秋～冬頃。

このほかにも「築地居留地」などを計画中。

セミナーや防災や減災勉強会、ミニ巡検などのイベントも企画中。

一般の方の参加も歓迎。いずれの巡検も順次財団HPに掲載していきます。

URL <https://chizujoho.jp.org>



巡検詳細ページ。当日の開催・中止もこちらに掲示します。

..... 展 覧 会 情 報

「古地図でめぐる三都（エド・キョウ・オオサカ）」

期 間 ～8月31日

会 場 神戸市立博物館（神戸市中央区）

URL <https://www.kobecitymuseum.jp>

「これって北海道!? 蝦夷地のカタチをたどる」

期 間 ～9月15日

会 場 ゼンリンミュージアム（北九州市小倉北区）

URL <https://www.zenrin.co.jp/museum/>

「地図と測量に見る戦災からの復興」

期 間 ～9月21日

会 場 地図と測量の科学館（つくば市）

URL <https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>

「初三郎式、かながわの描き方—地形表現の科学—」

期 間 ～11月9日

会 場 神奈川県立 生命の星・地球博物館（小田原市）

URL <https://nh.kanagawa-museum.jp>

8月30日～31日：日本地図学会定期大会開催。

mini地図NEWS

▶ 国土地理院、自然災害リスクが分かる「地形分類データ」追加公開

国土地理院は7月1日、能登半島や沖縄県などの平野部を中心に、土地の成り立ちを示した地形分類データ「数値地図25000（土地条件）」を追加公開した。その場所で発生しやすい自然災害を推測できるとしている。

新たに公開したのは、輪島市や珠洲市を含む石川県、鹿児島県、県内のデータ整備が初となる沖縄県などの

計約2500km²。山地や台地・段丘、低地、人工地形など土地の成り立ちを示した地形分類の主題図（特定のテーマに沿って記した地図）となっている。（後略）（7/3、ITmedia NEWS）



▶ 日本気象協会、東京都と連携して「東京暑さマップ」を公開

一般財団法人日本気象協会（本社：豊島区）は、東京都と連携し、1kmの高解像度で都内全域の暑さ指数（WBGT）を確認できる「東京暑さマップ」を6月20日から一般公開（<https://micos-sc.jwa.or.jp/tokyo-wbgt/>）。

「東京暑さマップ」の特徴

○身近な場所の危険度が分かる

1km メッシュの暑さ指数を色別で分かりやすく表示

○1時間ごとの暑さ指数が分かる

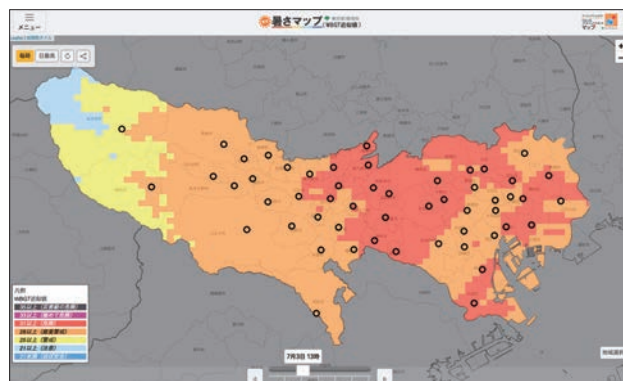
暑さ指数を1時間ごとに 48 時間先まで表示

○日ごとの最高暑さ指数が1週間先まで分かる

7日先までその日の最も高い暑さ指数を表示

○暑さ指数の細かな数値が分かる

区市町村の暑さ指数の数値を表形式で表示（WBGT（Wet Bulb Globe Temperature）：熱中症を予防することを目的とした指標）（6/20、日本気象協会）



地図絡み

灯台のある風景を地理院地図から眺める

(一財) 地図情報センター 監事 伊藤 等

はじめに

国土地理院の“灯台”記号の説明には、“灯台は原則として総て表示。灯標、航空灯台は重要なものを表示。灯台(光源)を上から見た形と四方八方に光が出ている様子”(引用文一部編集)とありました。

(<https://www.gsi.go.jp/KIDS/map-sign-tizukigou-2022-toudai.htm>)

きっかけ

テレビ番組で“大瀬崎の神池”(静岡県沼津市)が取り上げられ“伊豆大瀬崎灯台”が映り込んでいました。灯台は独特な形状が魅力的な建物と考えていたのですが、“灯台”なら航海用海図ですが(掲載:許諾番号取得書類提出が必要)、今回も“地理院地図”から“灯台のある風景”を眺めることにしました。

伊豆大瀬崎灯台:駿河湾に約1km突き出た「大瀬崎」の先端、「大瀬神社」の神域に建つ。1957年11月、初点灯(塔高13m 灯火標高16m)の波が打ち寄せる海岸に直接建つコンクリート製塔形の白い灯台(一部編集)。

引用: <https://www.surugawan.net/guide/587.html>

伊豆・駿河観光ガイド『駿河湾★百景』沼津市観光ガイドより



大瀬崎の神池と“伊豆大瀬崎灯台”。大瀬神社境内の“大瀬の神池”は海に囲まれているが、鯉が泳ぐ淡水の池で、伊豆七不思議の一つ。



真名瀬海岸の沖にある“葉山灯台”。菜島(名島)には森戸大明神(神社)の赤い鳥居が立つ。遠くに眺める富士山は絶景(写真)。

灯台のある風景

裕次郎灯台:神奈川県三浦郡葉山町堀内。森戸神社の沖合に位置しています。

映画スター石原裕次郎さんの三周忌を記念し建設。正式名称は「葉山灯台」(塔高11m。3秒に1回白色光が点滅、“F1W3s”、光達距離5海里、初点灯昭和44年3月)。

船舶を操縦される裕次郎さんが危険な海域と考えていたようです。確かに、沖合に向かって小さな岩礁などが点在しています。因みに“葉山港”にはヨットの帆をイメージした赤塔形の“葉山港A防波堤灯台”(デザイン灯台)が建っています。

塔高:8.1m、灯高:12.7m、光達距離:9.5海里、4秒ごとに2秒間赤光を発する(2秒間光って2秒間暗くなる Iso R 4s)。初点灯:平成13年7月22日

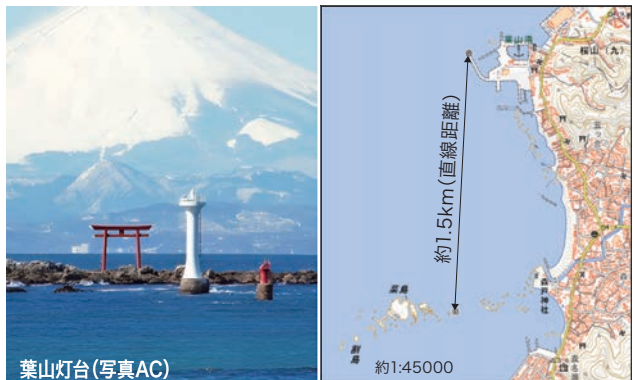
(https://www.tokokai.org/tkkwp/wp-content/uploads/2018/01/P158_Hayama.pdf→ このホームページから“ペーパークラフト”を入手できます(説明文引用))

葉山を散策してみましょう

裕次郎灯台と葉山港は距離にして1.5km程度でしょうか?カメラと地図を持ちJR逗子駅から森戸海岸、または、森戸神社まで京浜急行バス乗車で裕次郎灯台を海岸から眺め葉山港まで散策してみたいものです。

街の喧騒を離れぼつんと立つ“灯台のある風景”を眺めるのは心のリフレッシュになるのではないのでしょうか。

(2025.6)



葉山港は日本ヨット発祥の地。葉山港A防波堤灯台は日本に約40基あるデザイン灯台の一つ。